

■報告書案および会議の終了について

座長にて取りまとめられた報告書案については、「スピード感をもって、様々な意見を出すべきという」考えに基づいて作成されており、特段修正いただく必要はございません。

なお、本会議の終わり方については報告書の提出をもって終了ということでした承いたします。

■まとめ

本会議において、森前法務大臣より示された「3つの柱」につき、様々な角度からの意見が集まったと考えています。

第1回会議において、「どうかスピード感をもって様々な意見を出していただきますよう」と森前大臣がご発言されておりましたように、本会議の役割は意見を出すことにあり、それらの意見をまとめて“提言”することではないと考えています。

これまでに出了た多様な意見を報告書としてまとめ、早々に上川大臣に提出し、それを受けて内部で閣達に議論いただき、今後の行政改革につき、具体的施策を決定されることが理想だと考えます。

また、上川大臣には、本会議から出た意見を受けて、「どのような体制で、どのように法務・検察行政の改革を進めていくのか」、分かりやすく発表いただく必要があると考えます。

本会議で出た様々な意見を受け、法務省の内部の目・内部の風を取り入れながら、国民に理解・信頼・期待され、国際理解も得られる法務・検察行政を推し進めていただきたいと、強く願っております。

以 上